

NPO やすらぎの郷 いいの

安心して住み続けられるまちをつくりたい！



☀️ 暑中見舞い申し上げます

役職員一同

この町

わたしは
あなたを(ほんのちよこと
だけ)

あなたは

彼を (少しは)

彼は

彼女を (半分は)

彼女は

誰かを (だいぶ)

誰かは

わたしを(充分に)

支えている

大きな円の弧を描くように

それは巡ってくる

わたしをめぐけて・・・

そんな数えきれない程の

弧が交差するこの町

みんなの広場

思い

『いつまでも安心して暮らせるまち』を胸に、朝倉さんはやすらぎの郷いいのを立上げて下さいました。真面目でやさしく、そしていつも全力で…。私達はそんな朝倉さんの背中をみて働いてきました。

今、私達は朝倉さんのやさしい思いの中で仕事ができています。そしてこれからも朝倉さんが広げた思いを皆さんと共に広げていきたいと思えます。いつか朝倉さんに報告できる日まで。

<ヘルパーステーション一同>

4月の入院される直前まで携帯をもち、電話対応もしてくれました。本当に沢山支えて頂きました。朝倉さんが築いてくれた事を大切に協力しながら地域の力になっていきたいと思えます。

<宇佐見 芳子>

いつも穏やかで黙々と仕事に向き合い、困っている地域の皆さんの手となり足となって働く姿を忘れることはありません。朝倉さんの志を引き継いでいきたいです。

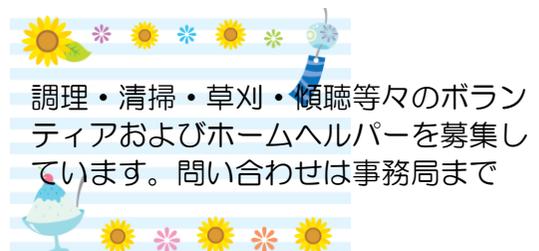
<府野 陽子>

つなぐ

やすらぎの郷の事務所には昔、武藤修三さん・友子さんご夫婦と愛犬タロウが住んでいました。2人とも視覚障害がありそれぞれ持病が悪化して、夫婦で要介護状態になりました。友子さんが亡くなり1人暮らしになった修三さんは全盲の状態で認知症になりました。朝倉健さんは、事業所の垣根をこえ地域の人達を巻き込み懸命に修三さんの支援にあたって下さいました。あるときは散歩ボランティア、掃除、通院介助、タロウの支援など心に寄り添い支えて下さいました。時には無謀と思われるような事もありました。「業務？役割？」そんな事よりも、「そばにいる専門職が人として今、何をすべきかを朝倉健さんから教わりました。今思えば、地域包括支援システムは飯野町ですすでに、朝倉さんを中心に10年前から始まっていたのですね。総会を終えて改めて、その想いを忘れずにしっかりとつないでいこうと決意いたしました。

朝倉健さん、お疲れ様でした。そしてありがとうございました。ゆっくりやすんで下さいね。

監事<加藤 仁美>



開設5年目に寄せて

会員 高槻 秀夫

この8月「NPO法人やすらぎの郷しいの」は開設5年目に入ります。あらためて心よりお礼と感謝を申し上げます。特に理事長を始め、スタッフの皆様方の献身的なるご努力に対しまして、ただただご苦労さまの言葉に尽きると感じております。

以前より我が国の高齢化が社会現象となり、私達のような団塊の世代が年齢層の広がりを増し、それにより社会福祉関係の特に介護産業の充実が着目されておりました。そんな中、伊藤理事長そして今は亡き朝倉健さんより、地域の方々の要望が高まる中で機宣として進まない介護サービスに対して、介護産業ではなく、非営利法人活動としてこの地域の介護の一翼を担いたいという崇高なる理念を込めたお話しを受け、何か私に



朝倉 健さん、ありがとう

「多くの皆様に支えていただき、人生の大半を社会福祉事業や社会運動に充実した生活を過ごすことができました・・・これまで支えてくださいました皆様・・・にただただ感謝の気持ちでいっぱいです」、このような“お別れのメッセージ”を託して5月8日に旅立たれた朝倉健さんです。私たち役員一体となってその思いを受け継ぎ前進させていく決意です。皆様ご協力よろしくお願い申し上げます。

理事長 伊藤敏寛

もお手伝いをしたと思いますが、私には何をすべきがなく、ほんの微力ではあるが賛助を込めた会員としての、賛同に至ったところでは、

お釈迦様が説いた言葉に”人間とは基本的に苦なる存在であり、いかなる人でもこの生老病死という苦しみから逃れることは出来ない”とあります。いわゆる四苦八苦の語源となっていますが、この「生・老・病・死」の中で、生まれる苦しみ、そして死を迎える苦しみは中々手を加えることが出来ませんが、老いる苦しみ、病むことの苦しみについては、まさに今、皆さんがこれらに直面している方々に対して慈悲の心を込めた救いの手を差し伸べられておられることだと思います。

ぜひ今後も一人でも多くの方々に対して、心の拠り所となって、心より頼れる組織活動を続けて頂きたい念願してやみません。

益々のご活躍、ご期待致しております。

平成 29 年度総会が開かれました。

6月9日(金)、えびすやフードセンターで「NPO やすらぎの郷いいの」の今年度総会が開かれました。夕6時開催の冒頭、去る5月8日早朝に他界された朝倉健事務局長を悼み、出席者一同、1分間の黙とうを捧げました。

議長に菅野幸居さんを選出し、会員39名中出席21名、委任状提出13名の参加により、議案7件(28年度事業報告、同決算・監査報告、定款の一部改正、29年度事業報告、同活動予算、補充役員の選任、新年度役員改選)についてそれぞれ報告提案・質疑ののち、全議案が承認されました。ヘルパー体制のいっそうの強化、求められる生活支援活動への対応とその在り方など特に意見が交わされました。



<役員補充>

(任期：総会～H29. 7. 31)

以下のお二人が新理事として選任されました。

- ・宇佐見芳子
(居宅介護支援センター所長)
- ・斎藤憲芳(事務局)

<改選新役員について>

以下の方々です。

(任期：H29. 8. 1～H31. 7. 31)

- ・理事…伊藤敏寛 佐藤信一
斎藤憲芳 菅野三三子
斎藤典子 熊田吉弘
宇佐見芳子
- ・監事…高野孝夫、加藤仁美



NPO やすらぎの郷いいの

福島市飯野町字前川16

TEL 024-563-4804

ホームページ <http://yasuraginosatoiino.jp/>

一言

当NPOと同名の連続TV昼ドラマが好評です。シニア世代のベテラン俳優が揃って登場し、“やすらぎの郷”を彩っています。

生きたドラマの日々を重ねて5年目に入る私たちの歩み…軸を担った事務局長のバトンを継いで…共によりよい明日に向かいます。(S)